

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0901	曜日時間	不定期
授業科目	母性看護学援助論Ⅰ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次前期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	妊娠・分娩・産褥各期における母性の特徴を理解し、対象に応じた看護の方法を理解する。						
中核	生命の誕生（正常な妊娠・分娩・産褥の経過）						
授業目標	1. 正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦の生理的变化・潜在的な問題を理解できる。 2. 対象と家族に対する健康の維持・潜在的な問題が生活にあたる影響と援助方法を学ぶ。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	5	<b>I. 妊婦の看護</b> 妊婦の生理 妊婦と胎児のアセスメント 妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント <b>II. 産婦の看護</b> 分娩の生理 産婦と胎児のアセスメント <b>III. 褥婦の看護</b> 産褥の生理 褥婦のアセスメントと看護 <b>IV. 母乳育児と看護</b> 母乳育児の特性 乳房の構造と機能・乳汁分泌メカニズム <b>IV. 新生児の看護</b> 新生児の生理 新生児のアセスメント 新生児期のケア	講義	10			
	8	<b>VI. 妊娠期における看護</b> 1) 妊娠期の母性を支える看護の実際(学内演習を含む) ・妊婦健診における母体測定法 ・母親学級における妊婦の出産準備と生活指導 ・出産育児の不安についての指導場面 <b>VII. 分娩期・産褥期における看護</b> 1) 分娩・産褥期の母性を支える看護の実際 ・産褥婦と家族の潜在的な問題と援助（ニード・産痛の緩和） ・産褥期の身体的生理的变化（退行性変化・進行性変化）と生活に与える影響と援助 ・産褥期の心理・社会的変化と生活に与える影響と援助 ・退院にむけての支援 <b>VIII. 新生児の看護</b> 1) 母性を支える看護の実際 ・新生児の出生後計測と経過看護（アプガースコア・新生児計測・黄疸計測等） ・新生児の行動と母子関係評価 <b>IX. まとめ・評価</b>	講義 演習	20		デモンストラーション演習を含める	
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験 授業態度等						
テキスト参考図書	小林康江他編：ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実際 メディカ出版						
実務歴有							
講義への反映							
備考							